

安 威 川 ダ ム

第 9 7 回 岩盤判定会議 資料

＜地盤検査＞

ロック敷き

ロック敷き

右岸下流部 : No. 6+4～No. 7+4、DC+42～DC+92

左岸上流部 : No. 14+14～No. 15+9、DC-50～DC-99

令和 2 年 1 2 月 1 8 日

大阪府 安威川ダム建設事務所

安威川ダム 岩盤判定会議（第 9 7 回）資料
目 次

1. 岩盤判定対象範囲 1

2. 地盤検査範囲（右岸側ロック敷き）の地質・岩盤状況..... 6

2. 1 岩盤状況の概要..... 6

2. 2 右岸側ロック敷きの岩盤状況..... 7

2. 3 設計時との対比（地質・岩級区分図）..... 10

2. 4 シュミットロックハンマー試験による岩級確認..... 11

3. 地盤検査範囲（左岸側ロック敷き）の地質・岩盤状況..... 12

3. 1 岩盤状況の概要..... 12

3. 2 左岸側ロック敷きの岩盤状況..... 13

3. 3 設計時との対比（地質・岩級区分図）..... 17

3. 4 シュミットロックハンマー試験による岩級確認..... 18

1. 岩盤判定確認範囲（第 97 回：令和 2 年 12 月 18 日）

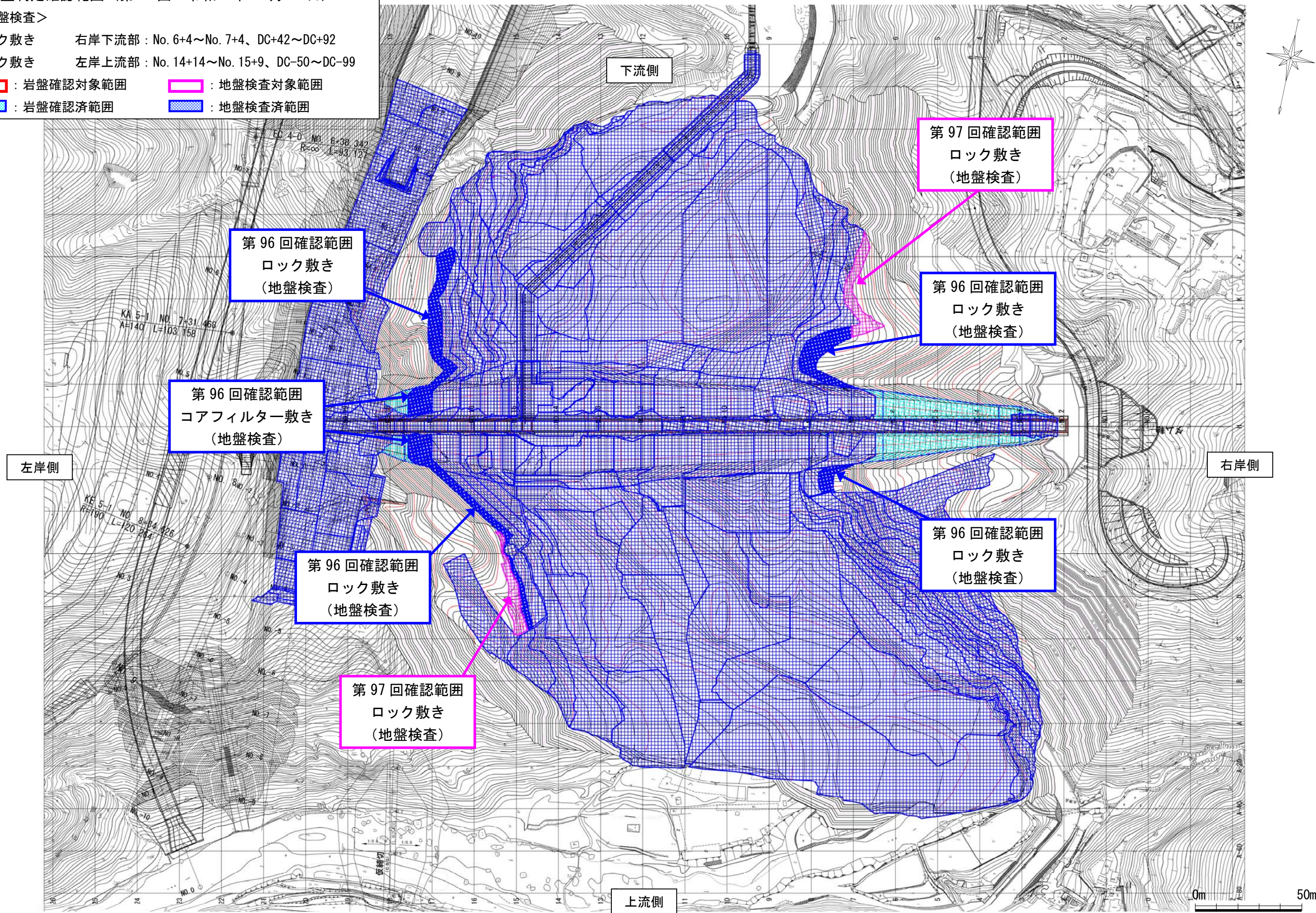
<地盤検査>

ロック敷き 右岸下流部：No. 6+4～No. 7+4、DC+42～DC+92

ロック敷き 左岸上流部：No. 14+14～No. 15+9、DC-50～DC-99

: 岩盤確認対象範囲
 : 地盤検査対象範囲

: 岩盤確認済範囲
 : 地盤検査済範囲

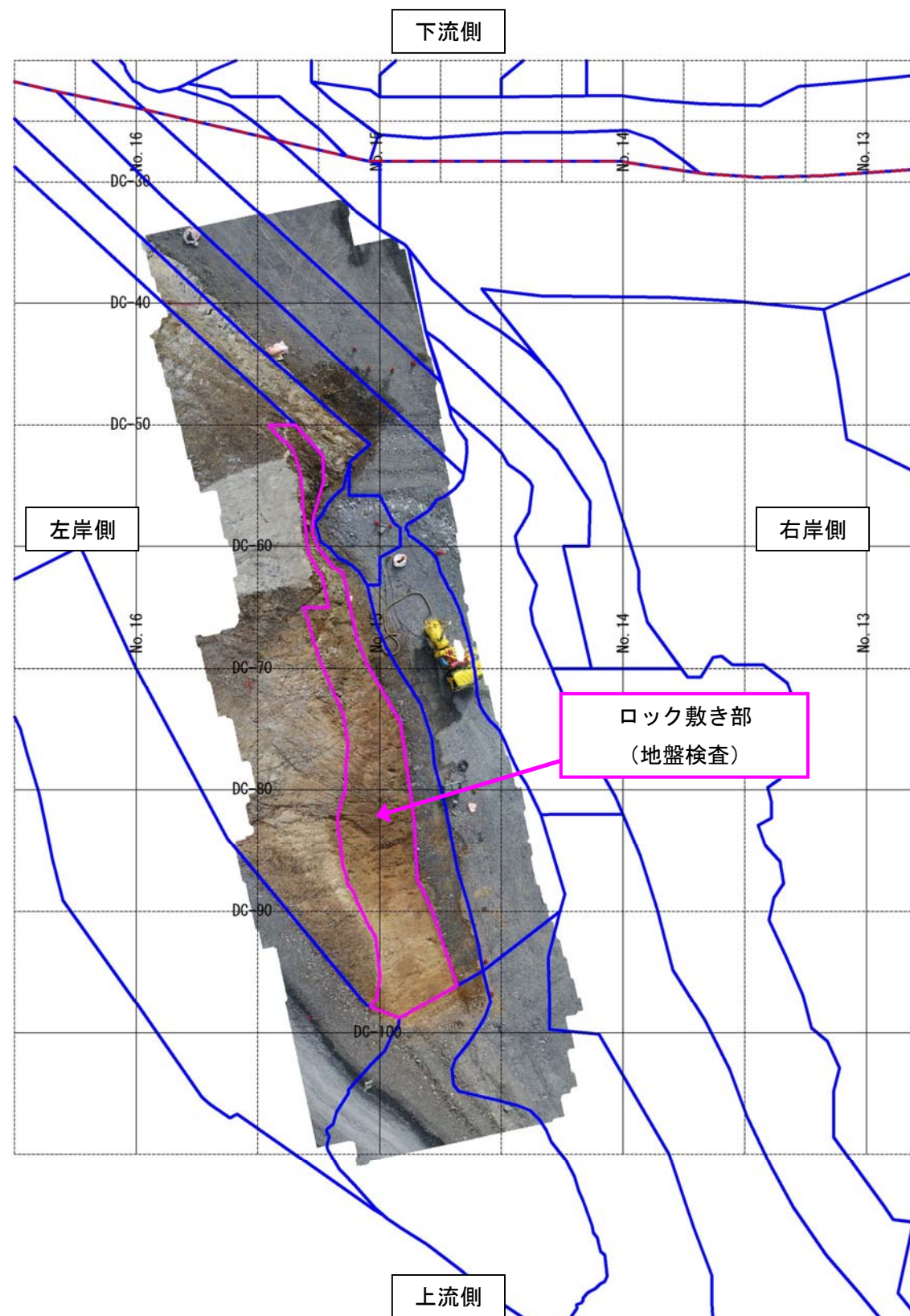


安威川ダム 岩盤判定会議			
日 付	回 数	範 囲	備 考
H27/7/16	第1回	コア・フィルター数:No. 2+1～No. 3 監 査 廊:No. 2+1～No. 2+15	
H27/8/24	第2回	コア・フィルター数:No. 3～No. 3+10 監 査 廊:No. 2+15～No. 3+10	地盤検査
H27/10/9	第3回	コア・フィルター数:No. 3+10～No. 7	確認範囲は No. 6+5まで
H27/12/14	第4回	コア・フィルター数:No. 6+5～No. 8 監 査 廊:No. 3+10～No. 4+10	地盤検査
H28/4/13	第5回	コア・フィルター数:なし 監 査 廊:No. 4+10～No. 5+15	地盤検査
H28/5/12	第6回	ロック数:No. 7+17～No. 9 (右岸下流側の工事用道路周辺のみ)	地盤検査
H28/5/20	第7回	ロック数:No. 9～No. 11 (右岸下流側の工事用道路周辺のみ)	地盤検査
H28/6/6	第8回	シュート部:非No. 4+10～非No. 6+10 コア・フィルター数:No. 6+10～No. 7+10 (置換えコンクリート施工範囲のみ)	地盤検査 地盤検査 (上流側のみ)
H28/7/1	第9回	監 査 廊:No. 5+15～No. 8	地盤検査
H28/7/26	第10回	ロック数:No. 8+2～No. 10(右岸下流)	地盤検査
		ロック数:No. 8+10～No. 11(右岸上流)	地盤検査
		洪水吐 坑口法面: EL. 86. 2m～82. 5m	地盤検査
H28/8/26	第11回	非常用洪水吐 流入部:EL. 131. 5m～128. 0m (非No. -4～非No. -1+15)	地盤検査
H28/9/30	第12回	洪水吐 坑口法面: EL. 82. 5m～79. 5m	地盤検査
H28/10/13	第13回	ロック数:No. 3+1. 5～No. 10+18. 2、DC-117. 1～DC-184. 9	地盤検査
		コア・フィルター数:No. 8～No. 10	
		監 査 廊:No. 8～No. 10	地盤検査
H28/11/2	第14回	コア・フィルター数:No. 7+17～No. 8+18 (F-1断層部 置換えコンクリート施工範囲)	地盤検査
H28/11/17	第15回	ロック数:No. 3+3. 5～No. 8+2. 7、DC-96. 6～DC-160 ロック数:No. 6+16. 8～No. 10+7. 2、DC-40～DC-133. 5 洪水吐 坑口法面: EL. 79. 5m～EL. 77. 5m	地盤検査 地盤検査 地盤検査
H28/12/06	第16回	ロック数:No. 8+10～No. 11、DC-40～DC-160	地盤検査範囲 F-13断層付近は DC-129まで
H28/12/16	第17回	コア・フィルター数:No. 10～No. 11 監 査 廊:No. 10～No. 10+8 (底盤部) No. 10～No. 11 (壁面部)	地盤検査
		ロック数:No. 3+3～No. 3+16. 5、DC-127～DC-145 下流連絡通路:通路No. 7+16～No. 11+2 (壁面部)	地盤検査 地盤検査
		ロック数:No. 2+13～No. 7+7、DC-70～DC-176	地盤検査
H29/1/19	第18回	ロック数:No. 9～No. 9+16、DC-50～DC-86	地盤検査
		ロック数:No. 9+17～No. 11、DC-129～DC-159	地盤検査
		ロック数:No. 10+8～No. 11+10、DC-38～DC-87	地盤検査
H29/2/15	第19回	下流連絡通路:通路No. 7+16～No. 11+2 (底盤部) ロック数:No. 2+14～No. 7+14、DC-49～DC-168	地盤検査 地盤検査
H29/3/7	第20回	コア・フィルター数:No. 11～No. 11+10 監 査 廊:No. 10+8～No. 11 (底盤部) No. 11～No. 11+10 (壁面部)	地盤検査
		ロック数:No. 7+4～No. 8+10、DC-22～DC-60	地盤検査
		ロック数:No. 10+13～No. 12+10、DC-70～DC-159	地盤検査
H29/3/24	第21回	洪水吐 シュート部: 非No. 6+10～非No. 7+10	地盤検査
		洪水吐 坑口底盤: 非No. 6+2～非No. 7+10	地盤検査
		洪水吐 坑口法面: EL. 77. 5m～EL. 75. 0m	地盤検査
H29/4/20	第22回	ロック数:No. 11+1～No. 12+12、DC-33～DC-70	地盤検査
		ロック数:No. 2+12～No. 7+4、DC-56～DC-155	地盤検査
		監 査 廊:No. 11～No. 11+10 (底盤部)	地盤検査
H29/5/17	第23回	ロック数:No. 2+11～No. 7+7、DC-50～DC-140	地盤検査
H29/6/20	第24回	ロック数:No. 3+10～No. 5+15、DC-77～DC-114	地盤検査
H29/7/11	第25回	ロック数:No. 9+19～No. 13+12、DC+39～DC+156	地盤検査
		ロック数:No. 4+1～No. 6+11、DC-66～DC-108	地盤検査
		ロック数:No. 10+6～No. 10+18、DC+127～DC+140	地盤検査
H29/8/1	第26回	洪水吐 シュート部: 非No. 7+10～非No. 8+2 下流連絡通路:通路No. 6+1～No. 7+16 (壁面部及び壁面上部斜面)	地盤検査 地盤検査
H29/9/1	第27回	コア・フィルター数:No. 11+10+No. 12 下流連絡通路:通路No. 6+1～No. 7+16 (底盤部)	地盤検査
H29/9/19	第28回	ロック数:No. 2+10～No. 4+1、DC-102～DC-142	地盤検査
		ロック数:No. 5+11～No. 8+1、DC-40～DC-75	地盤検査
		洪水吐 流入部: 非No. -2～非No. -4	地盤検査
H29/10/12	第29回	洪水吐 シュート部: 非No. 3+2～非No. 4+10	地盤検査
H29/10/17	第30回	洪水吐 流入部: 非No. 7+10～非No. 8+6. 2	地盤検査
H29/10/26	第31回	洪水吐 シュート部: 非No. -4～非No. -4-6	地盤検査
H29/11/2	第32回	洪水吐 流入部: 非No. -2～非No. -4	地盤検査
H29/11/8	第33回	洪水吐 流入部: 非No. -4-1～非No. -4-7	地盤検査
H29/11/21	第34回	ロック数:No. 2+11～No. 4+7、DC-98～DC-134 洪水吐 流入部: 非No. -3-17～非No. -4-4	地盤検査 地盤検査
H29/11/29	第35回	洪水吐 流入部: 非No. -3-14～非No. -4-3	地盤検査
H29/12/07	第36回	洪水吐 導流部: 非No. 1+10. 5～非No. 3+2	地盤検査
H29/12/22	第37回	洪水吐 導流部: 非No. 1+18～非No. 3+10	地盤検査

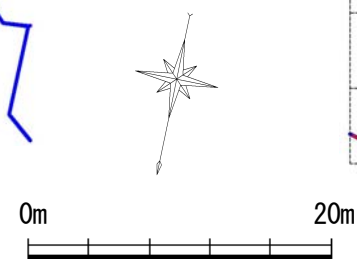
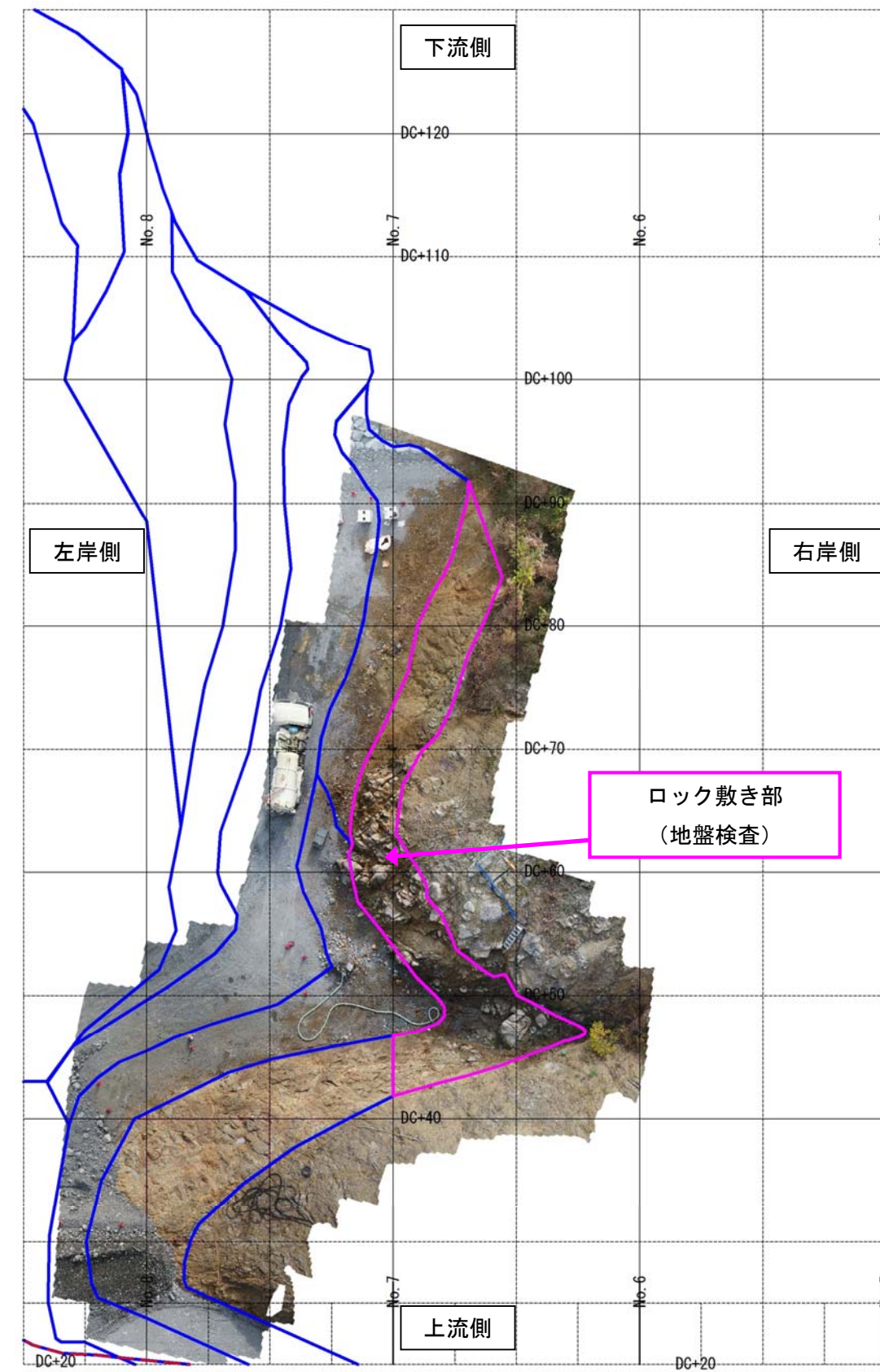
安威川ダム 岩盤判定会議			
日 付	回 数	範 囲	備 考
H30/1/19	第38回	洪水吐 シュート部: 非No. 3+10～非No. 4+10	地盤検査
H30/1/31	第39回	洪水吐 流入部: 非No. -2-4～非No. -3-15	地盤検査
		ロック数:No. 13～No. 14+18、DC+92～DC+142	地盤検査
H30/2/8	第40回	コア・フィルター数:No. 17+18～No. 18+13. 5 フィルター数:下流側No. 17+1. 3～No. 18+4 上流側No. 17+12. 2～No. 18+4	地盤検査
H30/2/20	第41回	洪水吐 流入部: 非No. -1-13～非No. -2-6	地盤検査
		下流連絡通路:通路No. 5+5～No. 6+1 (壁面部)	地盤検査
H30/3/7	第42回	コア・フィルター数:No. 17+8～No. 17+18 監査廊部: No. 17+9～No. 18+5	地盤検査
		下流連絡通路:通路No. 4+10～No. 5+5 (壁面部)	地盤検査
H30/3/22	第43回	コア・フィルター数:No. 16+19～No. 17+11 監査廊部: No. 17+3～No. 17+17	地盤検査
		下流連絡通路:通路No. 4+15～No. 6+1 (底盤部)	地盤検査
H30/4/9	第44回	コア・フィルター数:No. 16+9～No. 17+3 監査廊部: No. 16+13～No. 17+13	地盤検査
		コア・フィルター数:No. 15+17～No. 16+13	
H30/4/19	第45回	監査廊部: No. 16+2～No. 17+3	地盤検査
H30/5/17	第46回	ロック数:No. 13+2～No. 14+9、DC+40～DC+74	地盤検査
H30/5/30	第47回	下流連絡通路:通路No. 4+10～No. 3+13 (壁面部)	地盤検査
H30/6/15	第48回	コア・フィルター数:No. 15+8～No. 16+2	上流側のみ
		コア・フィルター数:No. 15+12～No. 16+4 (F-6断層部)	地盤検査
		ロック数:No. 11+7～No. 14+12、DC-39～DC-120	地盤検査
H30/6/28	第49回	下流連絡通路:通路No. 3+3～No. 4+15 (底盤部) 通路No. 3+3～No. 3+13 (壁面部)	地盤検査
		コア・フィルター数:No. 15+2. 5～No. 16+2 監査廊部: No. 15+9. 5～No. 16+12	下流側のみ 地盤検査
H30/7/26	第50回	コア・フィルター数:No. 14+19. 7～No. 15+14. 5 コア・フィルター数:No. 15+6. 5～No. 15+17. 5 (F-6断層部)	上流側のみ 地盤検査
		ロック数:No. 11～No. 12+17. 5、DC-115～DC-161	地盤検査
H30/8/27	第51回	コア・フィルター数:No. 12～No. 13+3 監査廊部:No. 14+19～No. 15+19	
		ロック数:No. 12+3～No. 13+4、DC-35～DC-56	地盤検査
		ロック数:No. 12+8～No. 14+6、DC-69～DC-139	地盤検査
H30/9/7	第52回	下流連絡通路:通路No. 1+10～通路No. 3+3	地盤検査
		コア・フィルター数:No. 12+9～No. 15 監査廊部:No. 11+10～No. 13 (監査廊 底盤部) No. 11+10～No. 13+5 (監査廊 壁面部)	上流側のみ 地盤検査
		監査廊部:No. 15+1. 5～No. 15+9 (監査廊 底盤部) No. 14+16. 5～No. 15+9 (監査廊 壁面部)	地盤検査
H30/9/20	第53回	ロック数:No. 11+19～No. 15、DC-28～DC-45	地盤検査
		下流連絡通路:通路No. 0+3～通路No. 1+10 (左岸側壁面部) 通路No. 3～通路No. 3+3 (左岸側壁面部)	地盤検査
		通路No. 1～通路No. 1+10 (右岸側壁面部)	
H30/10/11	第54回	監査廊部:No. 13+5～No. 15 (監査廊 上流側壁面部)	地盤検査
		ロック数:No. 12+15～No. 14+8、DC-80～DC-149	地盤検査
		下流連絡通路:通路No. 1+10～No. 3+3 (底盤部)	地盤検査
H30/10/25	第55回	監査廊部:No. 13～No. 15+1. 5 (監査廊 底盤部) No. 13+5～No. 14+11 (監査廊 下流側壁面部)	地盤検査
		ロック数:No. 13+15～No. 14+18、DC-35～DC-70	地盤検査
		ロック数:No. 13+11～No. 14+14、DC-90～DC-142	地盤検査
H30/11/8	第56回	下流連絡通路:通路No. 0+3～通路No. 1+10 (底盤部) 通路No. 0+3～通路No. 1 (右岸側壁面部)	地盤検査
H30/11/21	第57回	(排水ピット部の底盤部、壁面部を含む)	
H31/1/18	第58回	コア・フィルター数:No. 13+2～No. 14+8 (下流側のみ)	
		コア・フィルター数:No. 13+3～No. 14+9 (F-6. 1断層 置換えCo施工範囲)	地盤検査
		ロック数:No. 14+3～No. 14+16、DC-42～DC-70	地盤検査
H31/2/1	第59回	ロック数:No. 14+1～No. 15+4、DC-95～DC-127	地盤検査
		ロック数:No. 14+18～No. 16+15、DC-60～DC-115	地盤検査
		ロック数:No. 14～No. 14+18、DC-49～DC-82	地盤検査
H31/2/14	第60回	ロック数:No. 9+15～No. 10+15、DC+126～DC+148	地盤検査
		ロック数:No. 12+4～No. 13+6、DC+137～DC+148	地盤検査
		ロック数:No. 12+16～No. 13+2、DC+103～DC+108	地盤検査
H31/2/28	第61回	ロック数:No. 10～No. 11+13、DC+110～DC+136	地盤検査
		ロック数:No. 12+7～No. 14、DC+65～DC+99	地盤検査
		ロック数:No. 13+7～No. 15+6、DC+70～DC+101	地盤検査
H31/3/18	第62回	洪水吐 導流部: 非No. -1+14. 4～非No. -2+19. 5	地盤検査
		洪水吐 流入部: 非No. -3+16. 3～非No. -15+19. 5	地盤検査
		ロック数:No. 12+8～No. 15+8、DC+76～DC+147	地盤検査
H31/3/18	第62回	洪水吐 導流部: 非No. 2+14. 5～非No. -2+19. 5	地盤検査
		洪水吐 流入部: 非No. -4+0. 4～非No. -4+15. 6	地盤検査
		ロック数:No. 13+14～No. 15+10、DC+81～DC+146	地盤検査
H31/3/18	第62回	ロック数:No. 14+18～No. 15+6、DC+42～DC+76	地盤検査
		洪水吐 流入部: 非No. -3+10～非No. -4+12. 4	地盤検査
		ロック数:No. 14～No. 15+12、DC+86～DC+132	地盤検査
H31/3/18	第62回	ロック数:No. 14+2～No. 14+9、DC+42～DC+53	地盤検査
		ロック数:No. 15+5～No. 15+12、DC+47～DC+53	地盤検査

安威川ダム 岩盤判定会議			
日 付	回 数	範 囲	備 考
H31/4/5	第63回	洪水吐 流入部～導流部：非No. -2+19. 5～非No. -3+10	地盤検査
		ロック数：No. 15+8～No. 15+18、DC+92～DC+129	地盤検査
		ロック数：No. 15+9～No. 15+15、DC+53～DC+88	地盤検査
H31/4/16	第64回	ロック数：No. 10+13～No. 11+17、DC+26～DC+41	地盤検査
		ロック数：No. 15+11～No. 15+19、DC+59～DC+98	地盤検査
R1/5/9	第65回	洪水吐 流入部：非No. -3+19. 5～非No. -4+15	地盤検査
R1/5/23	第66回	ロック数：No. 15+15～No. 16+5、DC+65～DC+121	地盤検査
		ロック数：No. 15+19～No. 16+10、DC+72～DC+114	地盤検査
R1/6/6	第67回	フィルター数：No. 13+18～No. 14+8、DC+25～DC+30	地盤検査
		ロック数：No. 13+5～No. 14+9、DC+30～DC+44	地盤検査
		ロック数：No. 16+5～No. 16+11、DC+77～DC+108	地盤検査
R1/6/20	第68回	フィルター数：No. 11+18～No. 13+18、DC+26～DC+30	地盤検査
		ロック数：No. 11+17～No. 13+18、DC+28～DC+41	地盤検査
		ロック数：No. 16+8～No. 17+6、DC+80～DC+100	地盤検査
R1/7/4	第69回	ロック数：No. 3+16～No. 6+18、DC-55～DC-103	地盤検査
R1/7/30	第70回	洪水吐 導流部：非No. 0+2～非No. 1+10. 5	地盤検査
		ロック数：No. 2+12～No. 6+13、DC+55～DC+125	地盤検査
		ロック数：No. 6+13～No. 8+6、DC+21～DC+55	地盤検査
R1/9/10	第71回	洪水吐 導流部：非No. -3+19～非No. 0+2	地盤検査
R1/9/27	第72回	洪水吐 導流部：非No. -1+9. 5～非No. 0+12. 5	地盤検査
R1/10/24	第73回	洪水吐 導流部：非No. -1+16～非No. -3+18	地盤検査
R2/1/30	第74回	コア・フィルター数：No. 12+13～No. 15+6	地盤検査
		ロック数：No. 2+14～No. 8+1、DC-31～DC-121	地盤検査
		ロック数：No. 14+19～No. 15+11、DC+29～DC+49	地盤検査
R2/2/18	第75回	コア・フィルター数：No. 13+15～No. 15+6	地盤検査
		フィルター数：No. 11+11～No. 13+3	地盤検査
		ロック数：No. 6+5～No. 7+11、DC-31～DC-55	地盤検査
R2/3/3	第76回	コア・フィルター数：No. 12+13～No. 15	地盤検査
R2/3/9	第77回	フィルター数：No. 12+9～No. 15+6	地盤検査
R2/3/16	第78回	ロック数：No. 3+1～No. 7+4、DC-31～DC-108	地盤検査
R2/4/2	第79回	ロック数：No. 3+2～No. 6+19、DC-31～DC-100	地盤検査
R2/4/17	第80回	ロック数：No. 3+11～No. 6+11、DC-30～DC-87	地盤検査
R2/5/11	第81回	コア・フィルター数：No. 11+13～No. 12+13	地盤検査
R2/5/21	第82回	フィルター数：No. 13+14～No. 15+1	地盤検査
		ロック数：No. 3+13～No. 5+19、DC-13～DC-77	地盤検査
R2/6/9	第83回	コア・フィルター数：No. 15～No. 15+16	地盤検査
		ロック数：No. 15+4～No. 15+15、DC+25～DC+53	地盤検査
		コア・フィルター数：No. 10+11～No. 12+2	地盤検査
R2/6/25	第84回	フィルター数：No. 15+3～No. 15+17	地盤検査
		ロック数：No. 10+6～No. 11、DC+25～DC+38	地盤検査
		ロック数：No. 11～No. 12+1、DC-24～DC-40	地盤検査
		ロック数：No. 15～No. 15+9、DC-27～DC-34	地盤検査
		ロック数：No. 15+7～No. 15+18、DC+30～DC+59	地盤検査
R2/7/6	第85回	監査廊部：No. 2+2. 16～No. 2+10	地盤検査
R2/7/22	第86回	監査廊部：No. 2+7. 6～No. 2+15	地盤検査
		コア・フィルター数：No. 7+11. 5～No. 9+6. 3	地盤検査
		ロック数：No. 8+2～No. 9+3、DC+21～DC+43	地盤検査
		ロック数：No. 7+13～No. 8+7、DC+64～DC+125	地盤検査
R2/8/4	第87回	コア・フィルター数：No. 7+11. 5～No. 9+6. 3	地盤検査
		コア・フィルター数：No. 15+14. 8～No. 16+5. 9	地盤検査
		ロック数：No. 8+1～No. 8+4、DC-21～DC-32	地盤検査
		ロック数：No. 14+15～No. 15+19、DC-24～DC-46	地盤検査
		ロック数：No. 15+10～No. 16+2、DC+24～DC+65	地盤検査
R2/8/19	第88回	監査廊部：No. 2+15～No. 3+4	地盤検査
R2/8/27	第89回	コア・フィルター数：No. 9+3～10+14	地盤検査
		洪水吐 導流部：非No. -1+0. 3～非No. -2+7. 8	地盤検査
		ロック数：No. 8+18～No. 10+12、DC+22～DC+43	地盤検査
		ロック数：非No. -1+2～非No. -3+17 (No. 18+1～No. 18+15、DC-22～DC-45)	地盤検査
R2/9/1	第90回	コア・フィルター数：No. 9+6～No. 11	地盤検査
		フィルター数：No. 15+19～No. 16+6	地盤検査
R2/9/18	第91回	ロック数：No. 15+15～No. 16+6、DC+23～DC+72	地盤検査
R2/10/7	第92回	ロック数：No. 7+7～No. 8+6、DC+46～DC+114	地盤検査
		コア・フィルター数：No. 15+19～No. 16+19	地盤検査
		ロック数：No. 7+1～No. 8+8、DC+40～DC+107	地盤検査
		ロック数：No. 14+13～No. 16+7、DC-23～DC-54	地盤検査
R2/10/19	第93回	ロック数：No. 15+19～No. 16+11、DC+22～DC+78	地盤検査
		ロック数：No. 14+5～No. 16+14、DC-21～DC-95	地盤検査
R2/10/30	第94回	ロック数：No. 16+3～No. 16+16、DC+21～DC+84	地盤検査
		コア・フィルター数：No. 6+8～No. 8+2	地盤検査
		ロック数：No. 6+16～No. 8+8、DC+19～DC+68	地盤検査
		ロック数：No. 7+11～No. 8+3、DC-19～DC-34	地盤検査
R2/11/25	第95回	ロック数：No. 14+18～No. 15+5、DC-53～DC-63	地盤検査
		ロック数：No. 6+14～No. 7+6、DC+62～DC+99	地盤検査
R2/12/7	第96回	コア・フィルター数：No. 16+14～No. 17+10. 4	地盤検査
		ロック数：No. 6+18～No. 7+16、DC-18～DC-32	地盤検査
		ロック数：No. 6+18～No. 8+5、DC+18～DC+47	地盤検査
		ロック数：No. 14+11～No. 17、DC-19～DC-95	地盤検査
R2/12/18	第97回	ロック数：No. 16+7～No. 17+1、DC+19～DC+84	地盤検査
		ロック数：No. 6+4～No. 7+4、DC+42～DC+92	地盤検査
		ロック数：No. 14+14～No. 15+9、DC-50～DC-99	地盤検査

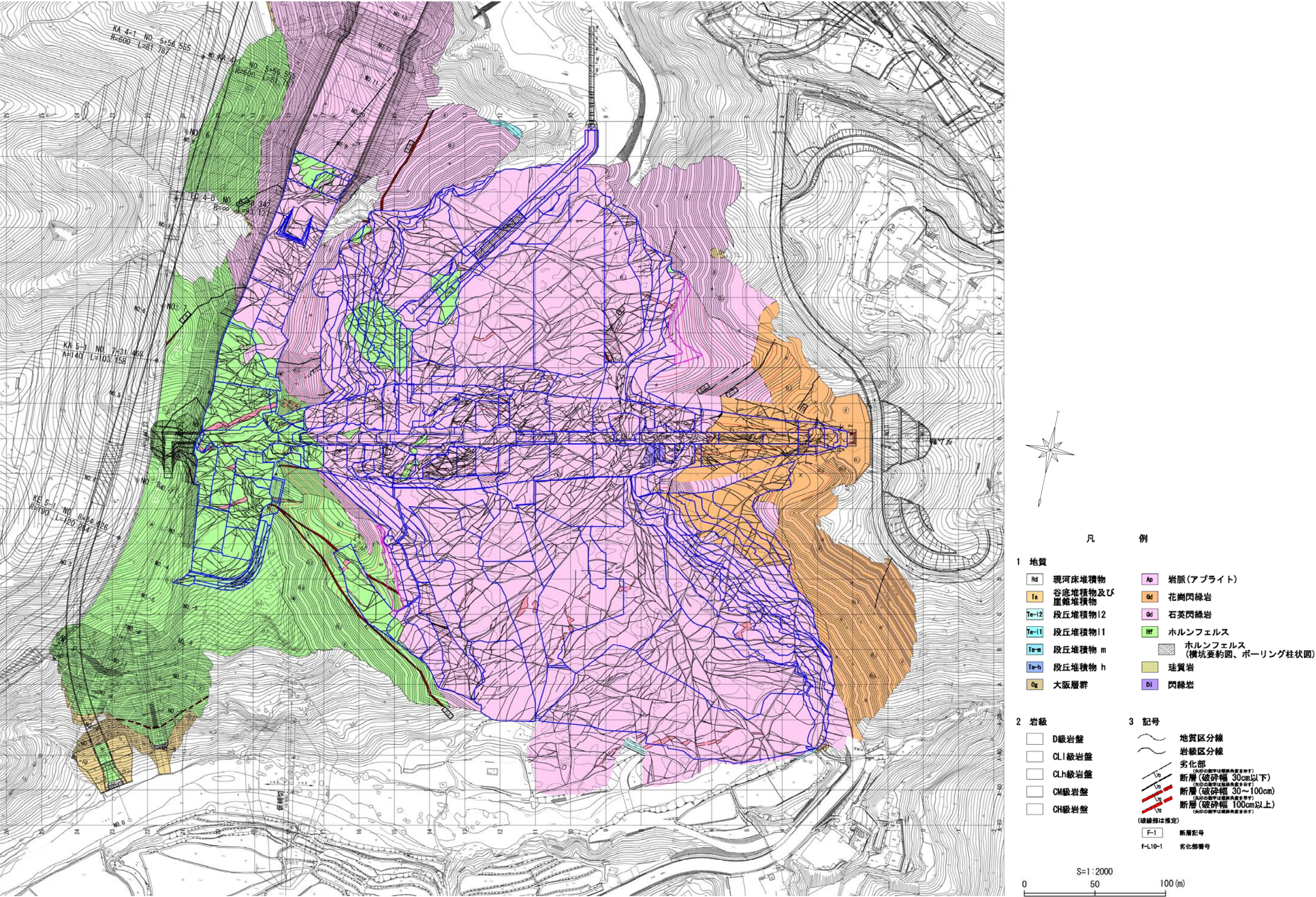
左岸側 ロック敷き部 (S=1/500)



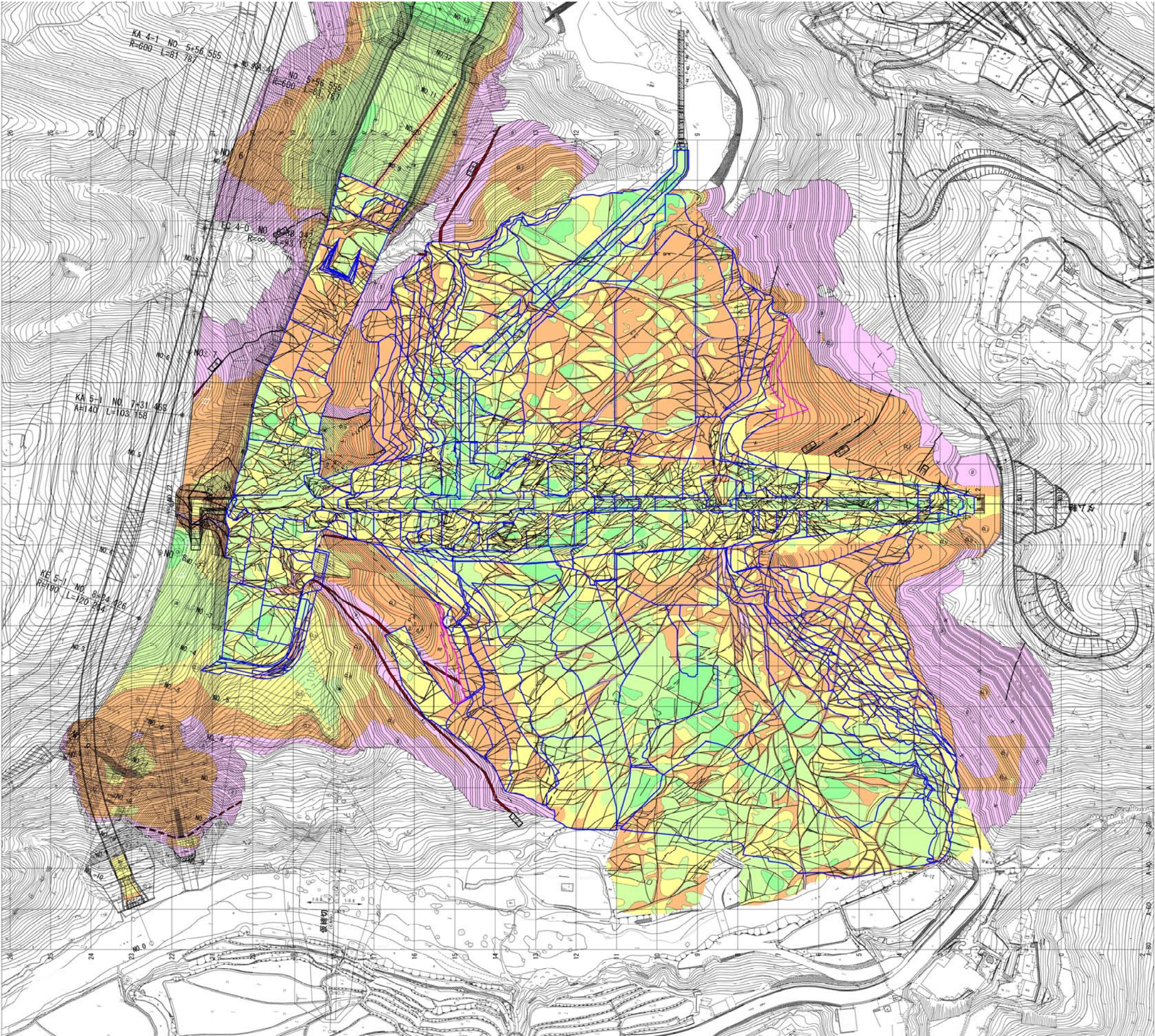
右岸側 ロック敷き部 (S=1/500)



掘削平面図（地質）（設計時の掘削平面図に、確認・検査済箇所等を更新）



掘削平面図（岩級）（設計時の掘削平面図に、確認・検査済箇所等を更新）



凡 例

- 1 地質

Rd	現河床堆積物	Ap	岩脈(アブライト)
Ta	谷底堆積物及び崖錐堆積物	Gd	花崗閃緑岩
Te-12	段丘堆積物 I2	Qd	石英閃緑岩
Te-11	段丘堆積物 I1	Hf	ホルンフェルス
Te-m	段丘堆積物 m		ホルンフェルス (横坑要約図、ボーリング柱状図)
Te-h	段丘堆積物 h		珪質岩
Og	大阪層群		
- 2 岩級

	D級岩盤
	CL I級岩盤
	CL h級岩盤
	CM級岩盤
	CH級岩盤
- 3 記号

	地質区分線
	岩級区分線
	劣化部
	断層(破砕幅 30cm以下) (矢印の数字は傾斜角度を示す)
	断層(破砕幅 30~100cm) (矢印の数字は傾斜角度を示す)
	断層(破砕幅 100cm以上) (矢印の数字は傾斜角度を示す)
(破線部は推定)	
F-1	断層記号
f-L10-1	劣化部番号

S=1:2000
0 50 100 (m)

2. 地盤検査範囲（右岸側ロック敷き）の地質・岩盤状況

2.1 岩盤状況の概要

表- 1 第 97 回岩盤判定会議

実 施 年 月 日		令和 2 年 1 2 月 1 8 日 (金)		前 回 実 施 年 月 日		令和 2 年 1 2 月 7 日	
検 査 箇 所	ロック敷き		右岸下流部：No. 6+4～No. 7+4、DC+42～DC+92				
地質・岩盤状況 (岩盤スケッチ図参照)			・地質は石英閃緑岩(Qd)が分布し、一部に幅 10cm～150cm 程度のアプライト脈が分布する。 ・全体的に CLh 級岩盤～CL0級岩盤が分布し、F-C 断層等の割れ目沿いに D 級岩盤が分布する。 (シュミットロックハンマー試験値、CL0：11～19 程度、CLh：17～42 程度)				
設 計	掘 削 勾 配		永久法面安定勾配 CH 級岩盤 1：0.6、CM 級岩盤 1：0.6、CLh 級岩盤 1：0.8、CL0級岩盤(一般部)1：1.0、CL0級岩盤(亀裂密集部等)1：1.0、D 級岩盤 1：1.0				
	設 計 岩 盤		今回範囲のロック敷きの基礎岩盤としては、CL0級岩盤以上を基礎とする。				
施 工 結 果 及 び 掘 削 面 状 況	項 目		無・有 (場所・素因等)		状況写真	処 理 計 画	
	地 盤 留 意 個 所 の 有 無	断 層	無・ ☒	F-C No. 6+14・DC+78 付近～No. 7+3・DC+67 付近で上下流方向に連続しており、幅 3cm～5cm 程度の灰色粘土部を含む幅 20cm～50cm 程度の D 級岩盤が分布する。	Pic.1 Pic.2	F-C D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の着岩面処理を実施する。	
		変質・劣化部	☒ ・有	なし。			
		湧 水 の 有 無	無・ ☒	No. 6+17・DC+74 付近の F-C 断層沿いに 0.10/min 程度の湧水が確認される。		湧水量が 10/min 程度未満であり、無処理とする。	
		調 査 横 坑	☒ ・有	なし。			
		ボ ー リ ン グ 孔	☒ ・有	なし。			
	そ の 他		☒ ・有	なし。			

2.2 右岸側ロック敷きの岩盤状況

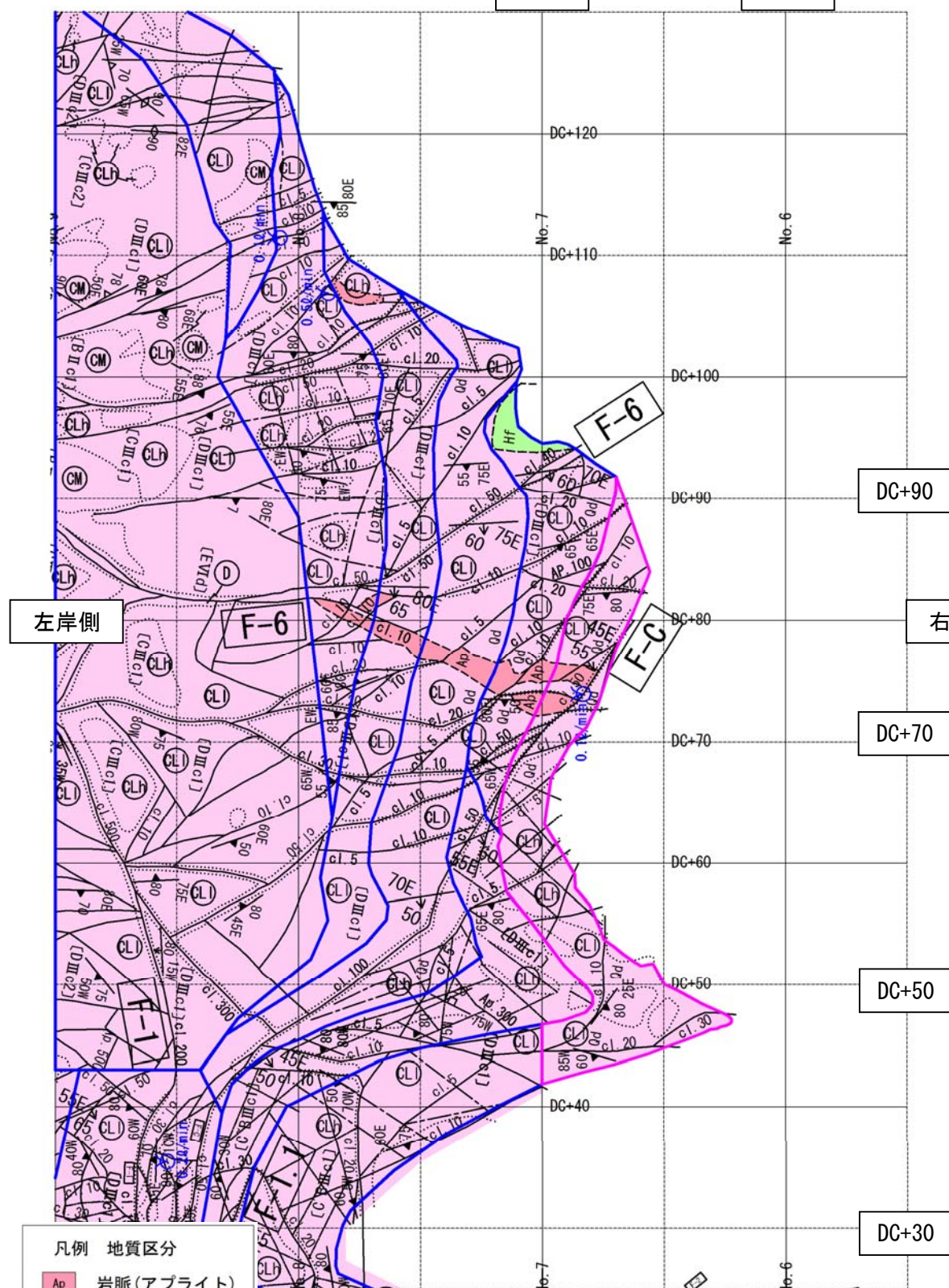
項目	設 計 時 の 想 定	仕 上 掘 削 面 で の 状 況	基 礎 地 盤 と し て の 評 価
地 質	・石英閃緑岩 (Qd) が分布する。	・石英閃緑岩 (Qd) が分布し、一部に幅 10cm～150cm 程度のアプライト脈が分布する。	・設計時の想定よりも良好で CLh 級岩盤～CLθ級岩盤を主体としており、ロック敷きの基礎岩盤としては問題ない。 F-C ・D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の岩着面処理を行うことで、ダムの安定性に問題はない。 ・湧水量は 1θ/min 程度未満であり、無処理とすることで、ダムの安定性に問題はない。
岩 級	・CL θ 級岩盤が分布する。	・全体的に CLh 級岩盤（区分 B`CⅢc1）～CL θ 級岩盤（区分 DⅢc1）が分布し、F-C 断層等の割れ目沿いに D 級岩盤が分布する。	
断 層 等	・有番断層は分布しない。	・今回範囲には 1 条の有番断層が分布する。 F-C ・No. 6+14・DC+78 付近～No. 7+3・DC+67 付近で上下流方向に連続しており、幅 3cm～5cm 程度の灰色粘土部を含む幅 20cm～50cm 程度の D 級岩盤が分布する。 ・走向傾斜は N45E/55N 程度である。	
湧 水	—	・No. 6+17・DC+74 付近の F-C 断層沿いに 0. 1 θ /min 程度の湧水が確認される。	

地質区分図 (S=1/500)

下流側

No. 7

No. 6



- 凡例 地質区分
- Ap 岩脈(アプライト)
 - Gd 花崗閃緑岩
 - Qd 石英閃緑岩
 - Di 閃緑岩
 - Hf ホルンフェルス

地盤検査対象範囲
(ロック敷き部)

- 凡例
- 地質境界線
 - 岩級境界線
 - 割れ目
 - 断層及びシーム
clは粘土化部、frは炭化部、
dglはマサ化部の厚さを示す
(厚さの単位: mm)
 - 節理面の走向・傾斜
 - 断層面の走向・傾斜
 - シームの走向・傾斜
 - 層理面の走向・傾斜
(数字は真北に対して)

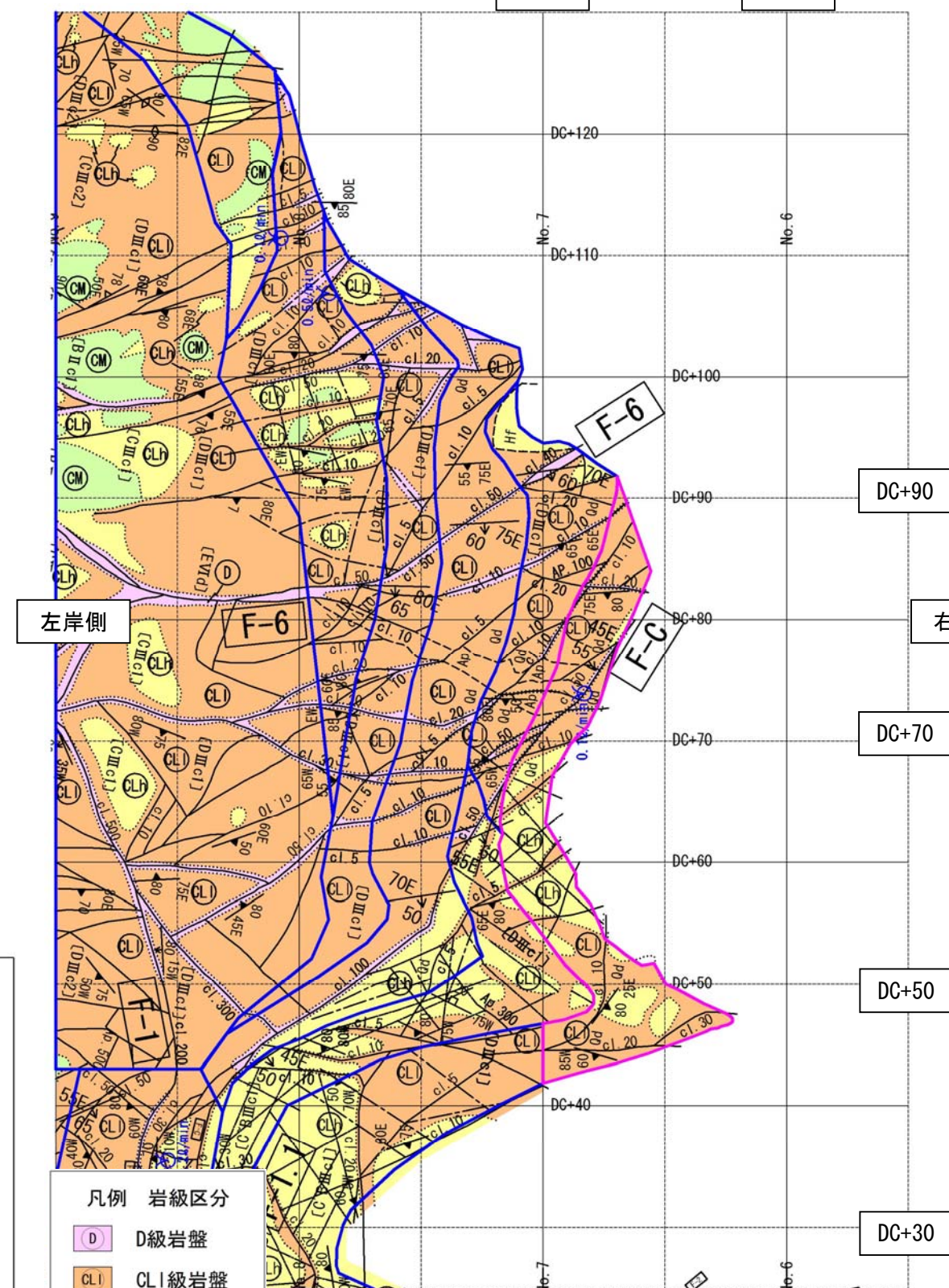
0m 20m

岩級区分図 (S=1/500)

下流側

No. 7

No. 6



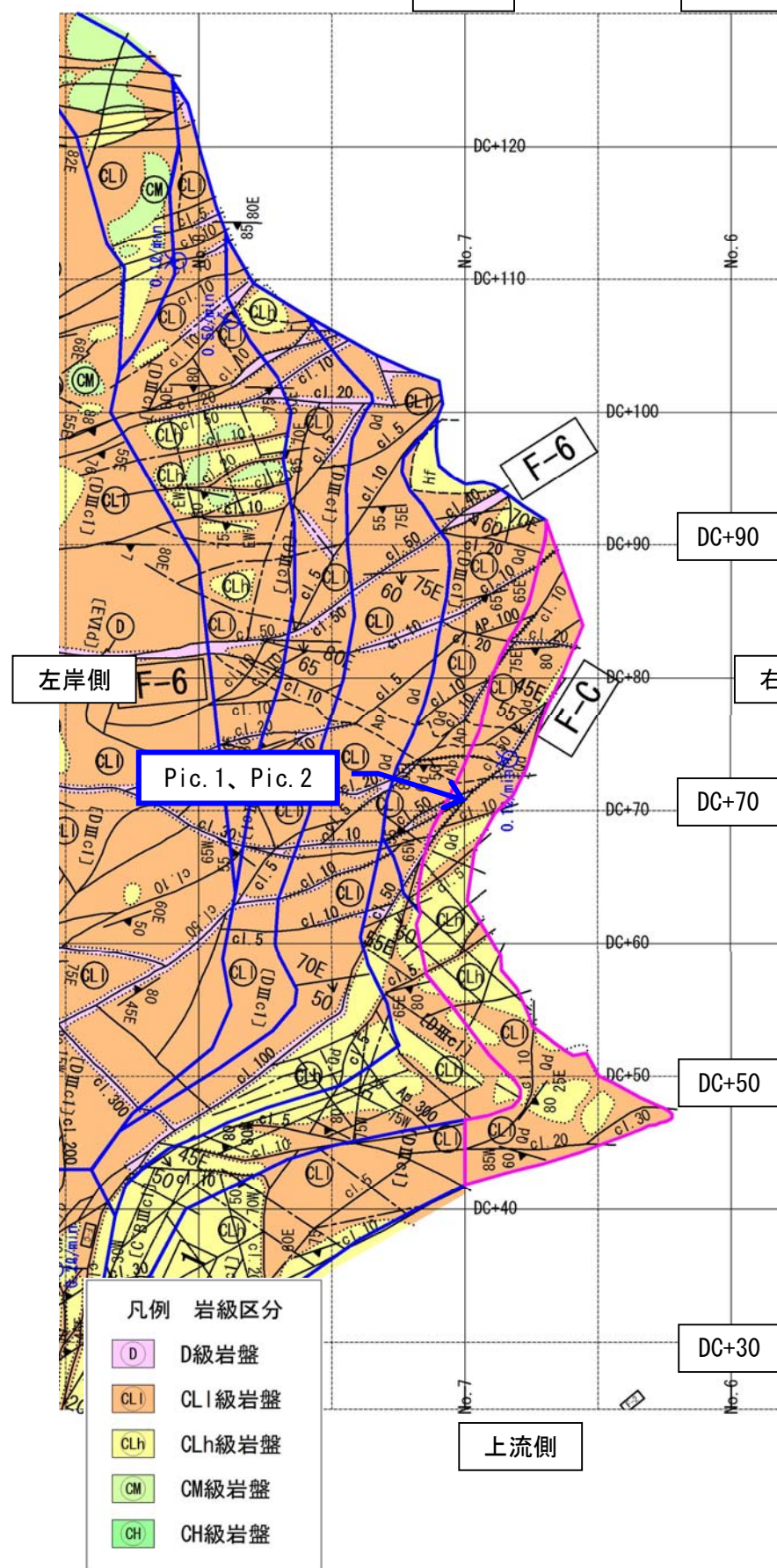
- 凡例 岩級区分
- D D級岩盤
 - CLl CLl級岩盤
 - CLh CLh級岩盤
 - CM CM級岩盤
 - CH CH級岩盤

写真位置図 (S=1/500)

下流側

No. 7

No. 6



Pic.1 F-C 断層

既往検査済みの下流ロック敷きから連続して分布する。

(確認日: 令和2年12月17日)

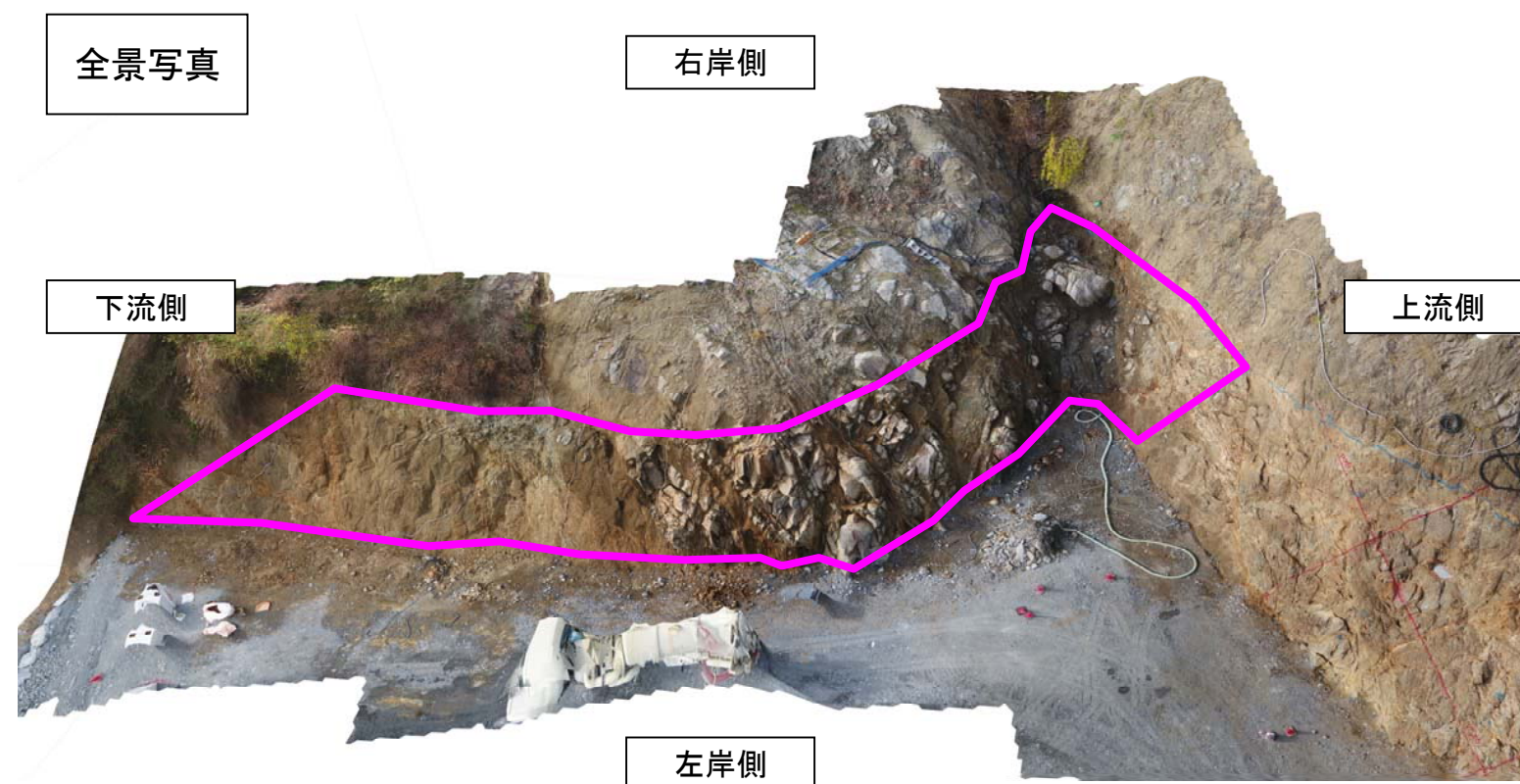


Pic.2 F-C 断層の近接写真

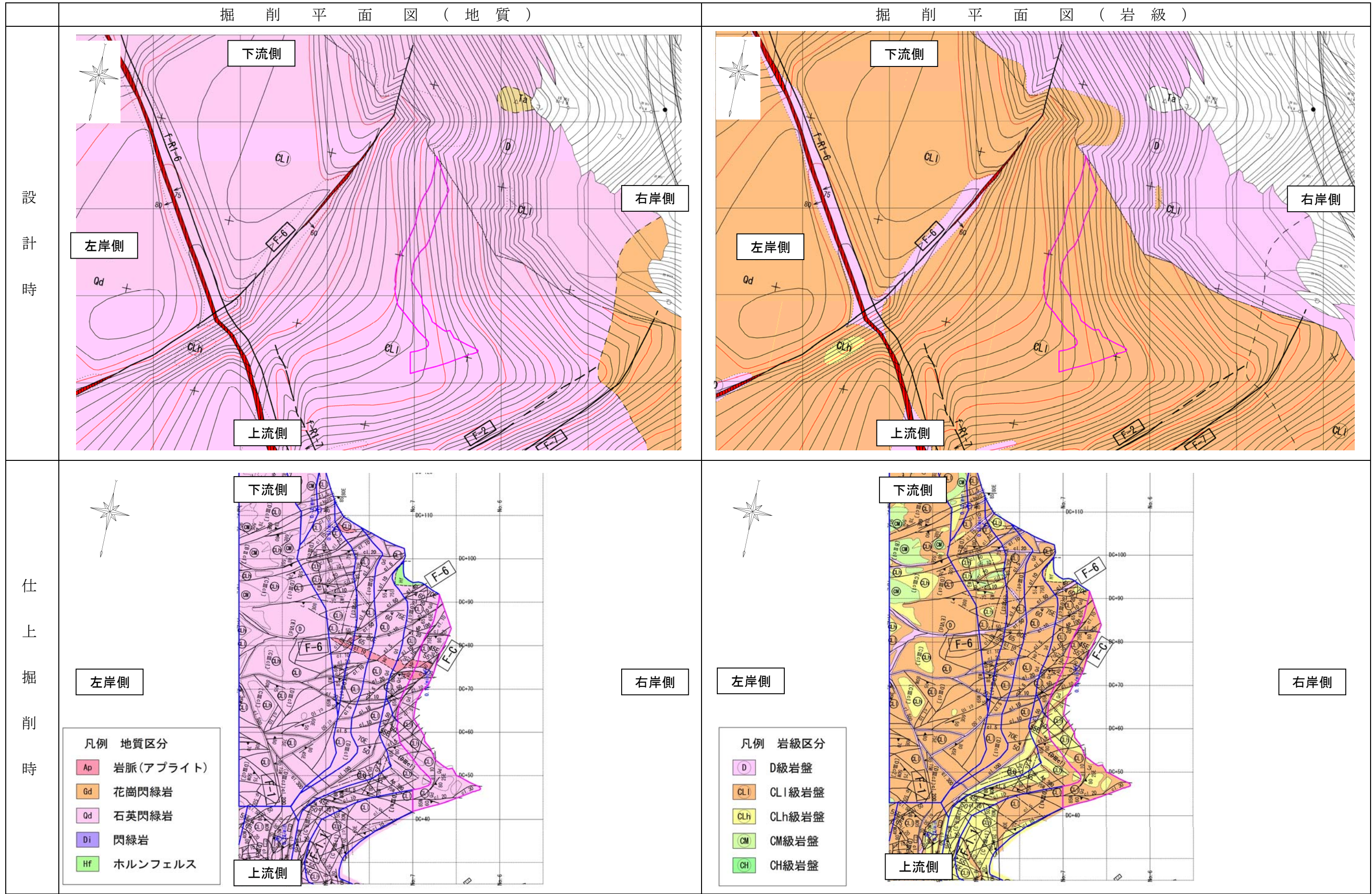
幅 3cm 程度の灰色粘土を含む幅 20cm 程度の D 級岩盤が分布する。
走向傾斜は N45E/55N 程度。

(確認日: 令和2年12月17日)

全景写真



2.3 設計時との対比（地質・岩級区分図）



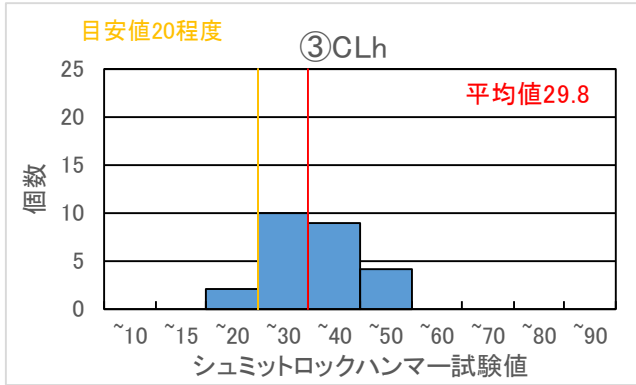
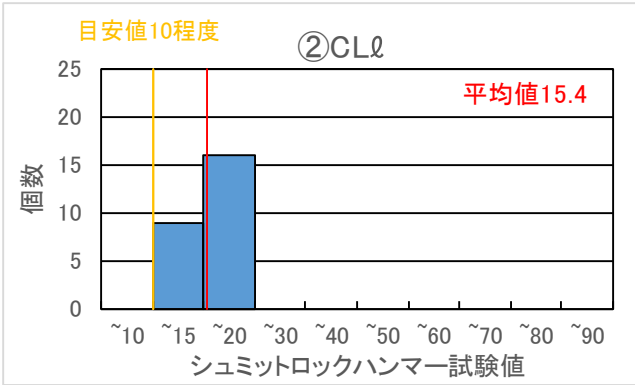
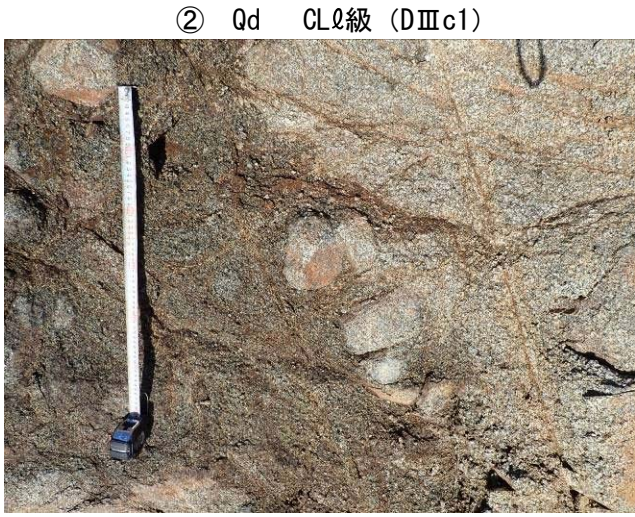
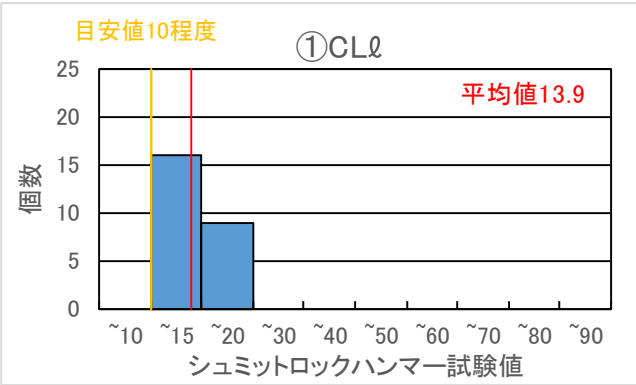
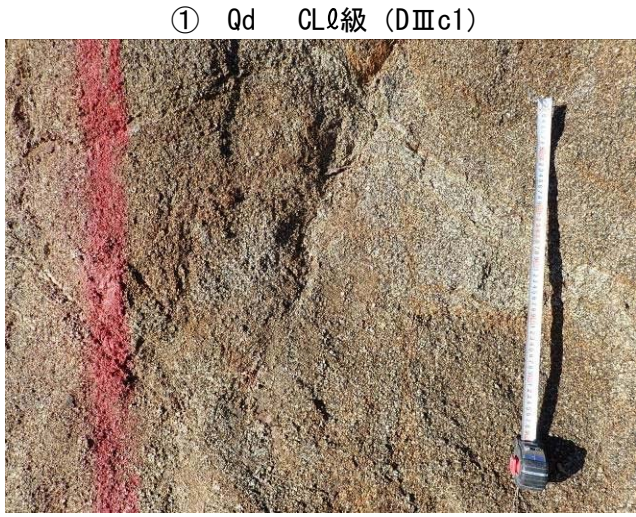
2.4 シュミットロックハンマー試験による岩級確認

2.4.1 CLℓ級岩盤及びCLh 級岩盤

試験日：令和2年12月17日

試験結果

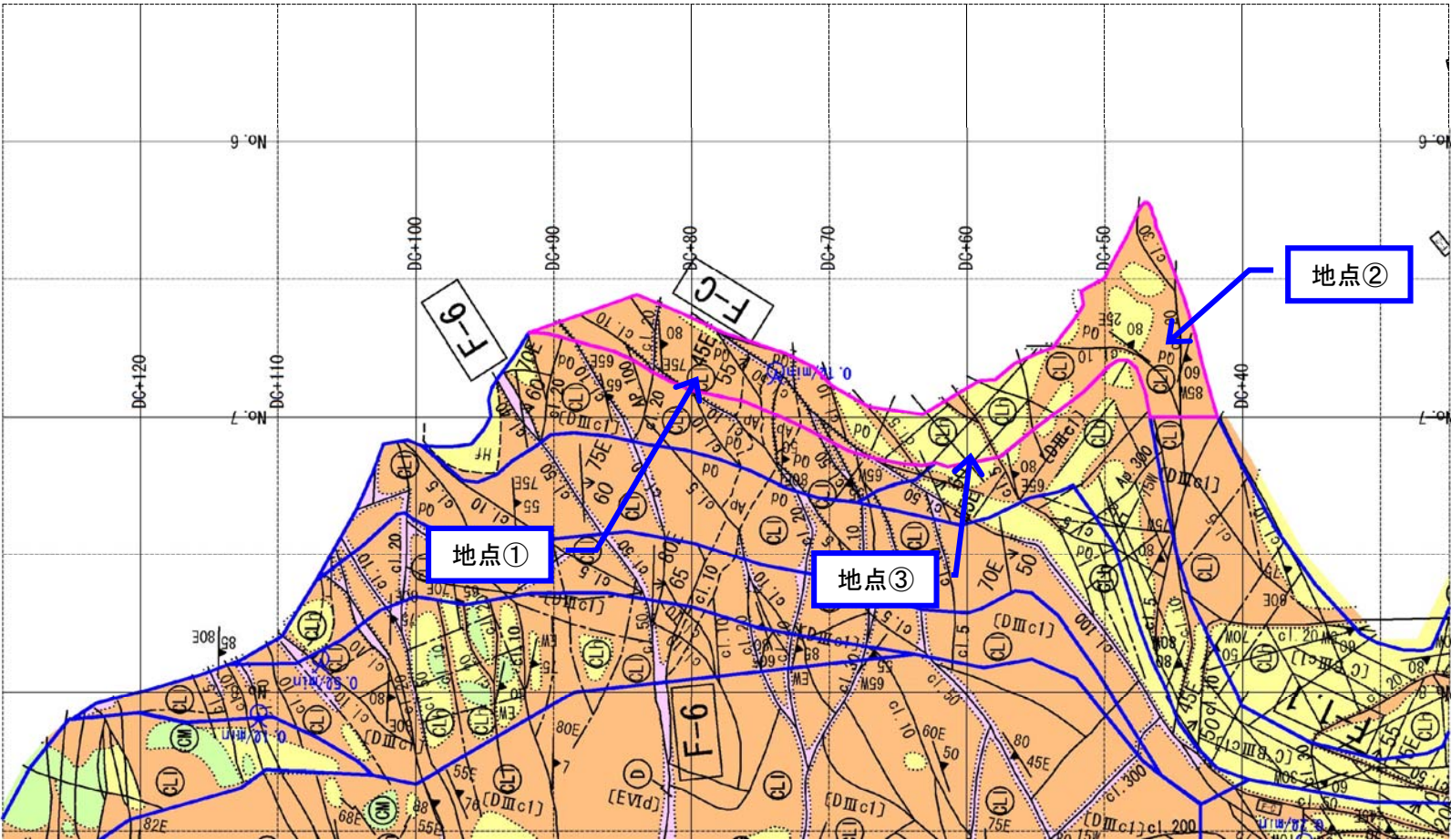
地点	①	②	③
地質	Qd	Qd	Qd
岩級	CLℓ	CLℓ	CLh
	DⅢc1	DⅢc1	BⅢc1
	補正值	補正值	補正值
1	15.4	18.4	42.0
2	13.4	11.4	30.5
3	16.4	12.4	22.5
4	15.4	15.4	21.4
5	13.4	17.4	30.5
6	13.4	17.4	27.5
7	11.4	16.4	31.5
8	12.4	13.4	33.3
9	11.4	15.4	17.4
10	16.4	11.4	30.5
11	12.4	19.4	20.4
12	14.4	17.4	19.4
13	13.4	16.4	42.0
14	13.4	16.4	25.5
15	12.4	15.4	42.0
16	15.4	14.4	28.5
17	15.4	13.4	23.5
18	11.4	16.4	39.3
19	13.4	14.4	27.5
20	15.4	15.4	40.3
21	16.4	16.4	30.5
22	16.4	13.4	25.5
23	13.4	14.4	27.5
24	13.4	17.4	33.3
25	12.4	15.4	32.3
最小値	11.4	11.4	17.4
最大値	16.4	19.4	42.0
平均値	13.9	15.4	29.8



安威川ダムにおけるシュミットハンマー試験		安威川ダムにおけるシュミットハンマー試験	
岩級	CLℓ	岩級	CLh(Qd)
目安値	10程度	目安値	20程度

傾斜角毎の補正值				
反発度 R	傾斜角に対する補正值 (△R)			
	+90°	+45°	-45°	-90°
10			+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

傾斜角の符号の考え方



3. 地盤検査範囲（左岸側ロック敷き）の地質・岩盤状況

3.1 岩盤状況の概要

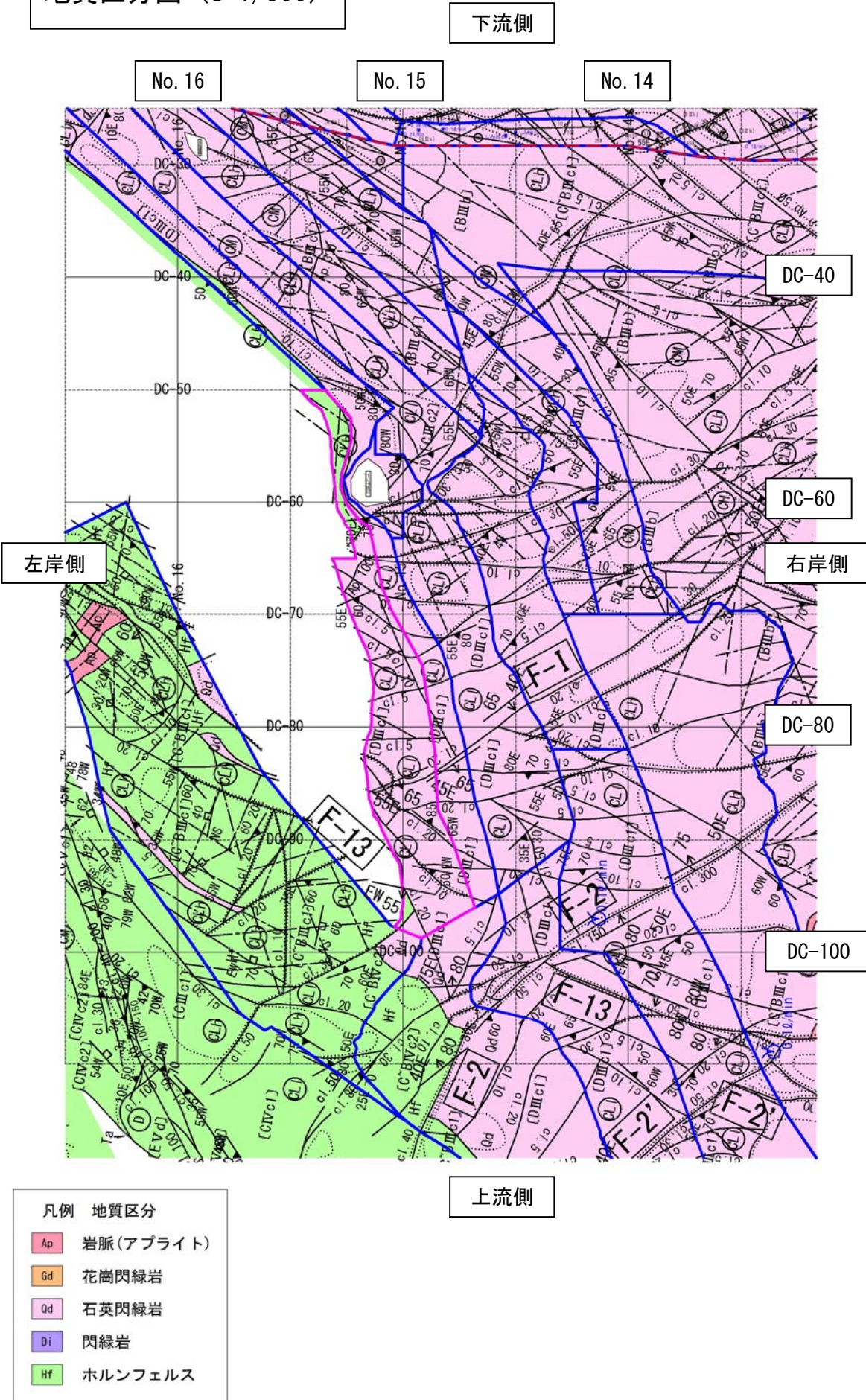
表- 2 第 97 回岩盤判定会議

実 施 年 月 日			令和 2 年 1 2 月 1 8 日（金）			前 回 実 施 年 月 日		令和 2 年 1 2 月 7 日		
検 査 箇 所	ロック敷き		左岸上流部：No. 14+14～No. 15+9、DC-50～DC-99							
地質・岩盤状況 (岩盤スケッチ図参照)			・地質は石英閃緑岩(Qd)が分布し、上下流端部の高標高部にホルンフェルス(Hf)が分布する。 ・全体的に CLh 級岩盤～CL0級岩盤が分布し、 F-13 断層、F-I 断層等の割れ目沿いに D 級岩盤が分布する。 (シュミットロックハンマー試験値、CL0：11～17 程度、CLh：12～37 程度)							
設 計	掘 削 勾 配		永久法面安定勾配 CH 級岩盤 1：0.6、CM 級岩盤 1：0.6、CLh 級岩盤 1：0.8、CL0級岩盤(一般部)1：1.0、CL0級岩盤(亀裂密集部等)1：1.0、D 級岩盤 1：1.0							
	設 計 岩 盤		今回範囲のロック敷きの基礎岩盤としては、CL0級岩盤以上を基礎とする。							
施 工 結 果 及 び 掘 削 面 状 況	項 目		無・有（場所・素因等）			状況写真	処 理 計 画			
	地 盤 留 意 個 所 の 有 無	断 層	無・ ☒	F-13 No. 14+18・DC-99 付近～No. 15+1・DC-91 付近で左右岸方向に連続しており、幅 1cm～2cm 程度の灰色粘土部を含む幅 5cm～30cm 程度の D 級岩盤が分布する。 F-I No. 14+17・DC-84 付近～No. 15+3・DC-86 付近で左右岸方向に連続しており、幅 1cm～2cm 程度の灰色粘土部を含む幅 10cm～30cm 程度の D 級岩盤が分布する。			Pic. 1 Pic. 2 Pic. 3 Pic. 4	F-13 D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の着岩面処理を実施する。 F-I D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の着岩面処理を実施する。		
		変質・劣化部	☒ ・有	なし。						
		湧 水 の 有 無	☒ ・有	なし。						
		調 査 横 坑	☒ ・有	なし。						
		ボ ー リ ン グ 孔	☒ ・有	なし。						
	そ の 他		☒ ・有	なし。						

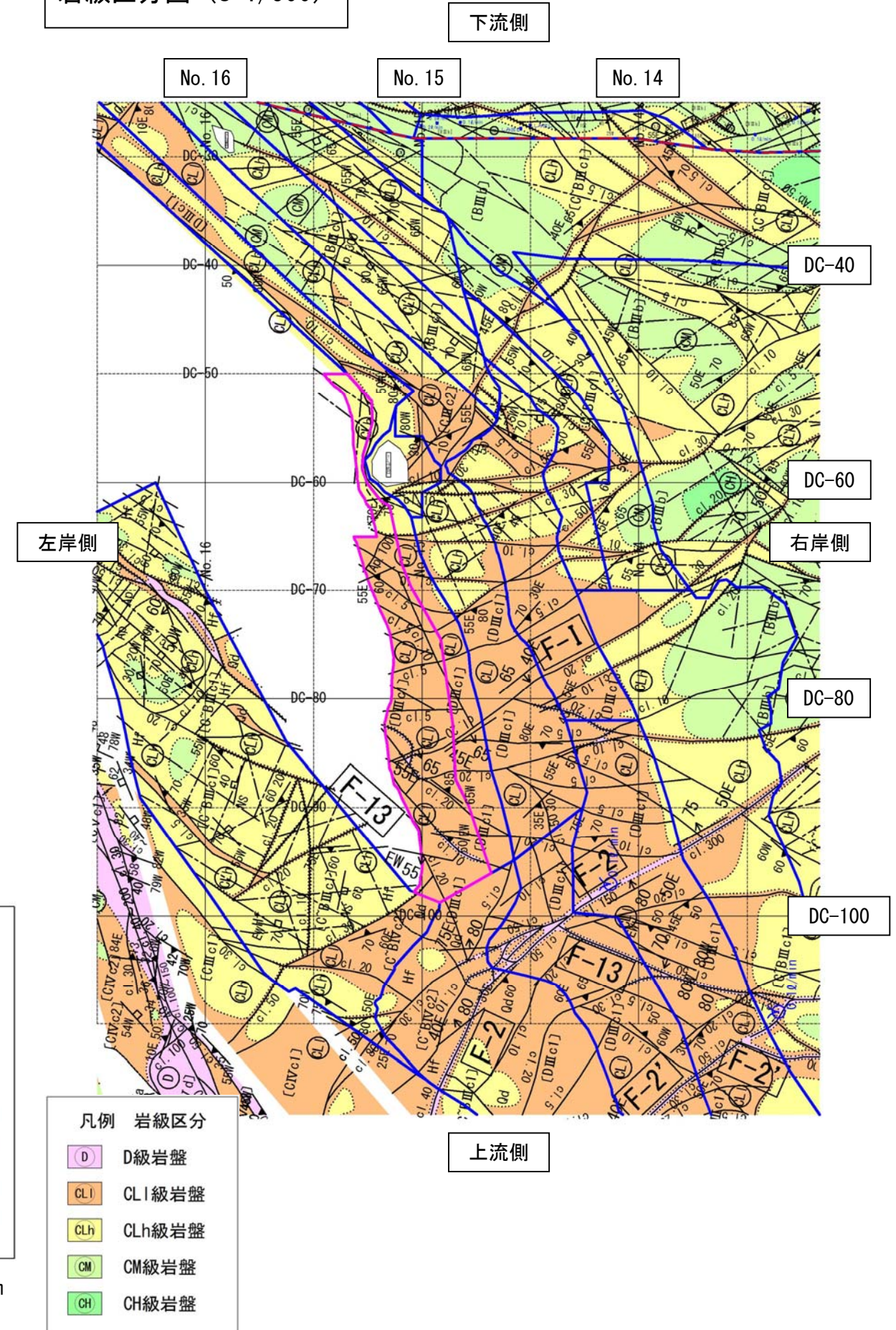
3.2 左岸側ロック敷きの岩盤状況

項目	設 計 時 の 想 定	仕 上 掘 削 面 で の 状 況	基 礎 地 盤 と し て の 評 価
地 質	・下流側に石英閃緑岩 (Qd)、 上流側にホルンフェルス (Hf) が分布する。	・石英閃緑岩 (Qd) が分布し、上下流端部の高標高部にホルンフェルス (Hf) が分布する。	・設計時の想定よりも良好で CLh 級岩盤～CL0級岩盤を主体としており、 ロック敷きの基礎岩盤としては問題ない。 F-13 ・D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の岩着面処理を行うことで、ダムの安定性に問題はない。 F-I ・D 級岩盤が幅 100cm 程度未満であり、ロック材盛立時の通常の岩着面処理を行うことで、ダムの安定性に問題はない。
岩 級	・CL0級岩盤が分布し、F-13 断層沿いに D 級岩盤が分布する。	・CLh 級岩盤（区分 B`CⅢc1）～CL0級岩盤（区分 DⅢc1）が分布し、F-13 断層、F-I 断層等の割れ目沿いに D 級岩盤が分布する。	
断 層 等	・F-13 断層が分布する。	・今回範囲には 2 条の有番断層が分布する。 F-13 ・No. 14+18・DC-99 付近～No. 15+1・DC-91 付近で左右岸方向に連続しており、幅 1cm～2cm 程度の灰色粘土部を含む幅 5cm～30cm 程度の D 級岩盤が分布する。 ・走向傾斜は EW/55N 程度である。 F-I ・No. 14+17・DC-84 付近～No. 15+3・DC-86 付近で左右岸方向に連続しており、幅 1cm～2cm 程度の灰色粘土部を含む幅 10cm～30cm 程度の D 級岩盤が分布する。 ・走向傾斜は N55E/65N 程度である。	
湧 水	—	・特になし	

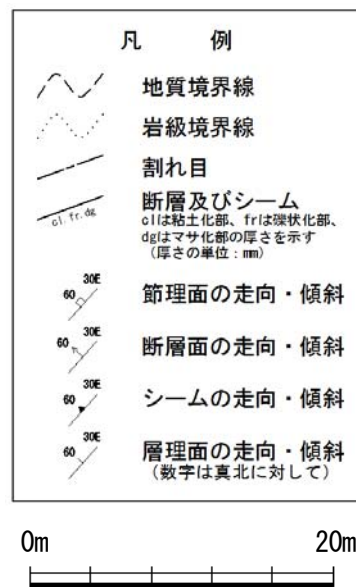
地質区分図 (S=1/500)



岩級区分図 (S=1/500)



地盤検査対象範囲
(ロック敷き部)



下流側

No. 16 No. 15 No. 14

DC-40 DC-60 DC-80 DC-100

右岸側

Pic. 1, Pic. 2

Pic. 3, Pic. 4

上流側

凡例 岩級区分

- D D級岩盤
- CL1 CL1級岩盤
- CLh CLh級岩盤
- CM CM級岩盤
- CH CH級岩盤

左岸側

上流側

右岸側

下流側



地盤検査対象範囲
(ロック敷き部)

凡 例

- 地質境界線
岩級境界線
割れ目
断層及びシーム
clは粘土化部、trは礫状化部、
dglはデブリ化部の厚さを示す
(厚さの単位: mm)
- 30E
60
30E
60
30E
60
30E
60
- 節理面の走向・傾斜
断層面の走向・傾斜
シームの走向・傾斜
層理面の走向・傾斜
(数字は真北に対して)



Pic. 1 F-13 断層

非常用洪水吐きから連続して分布する。

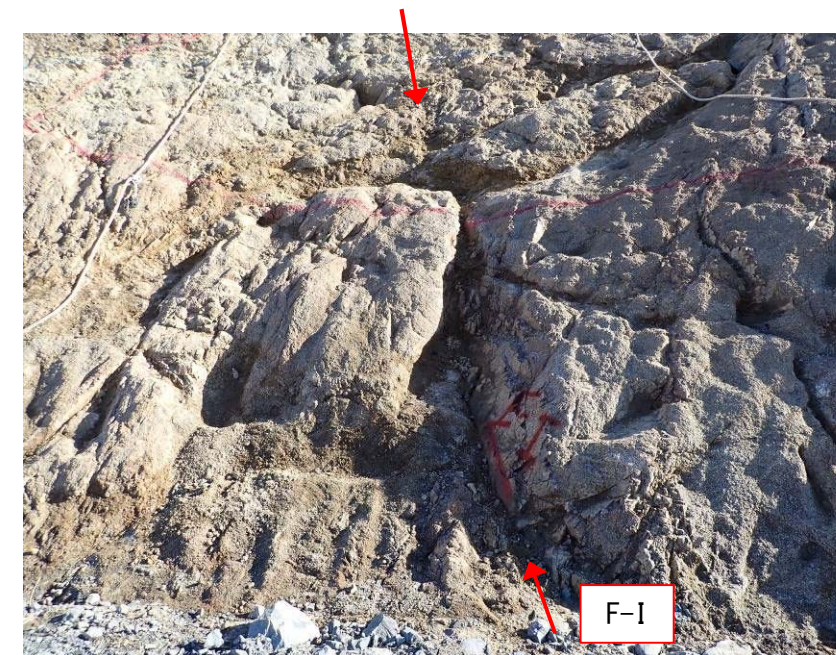
(確認日：令和 2 年 12 月 17 日)



Pic. 2 F-13 断層の近接写真

幅 1cm 程度の灰色粘土を含む幅 20cm 程度の D 級岩盤が分布する。
走向傾斜は EW/55N 程度。

(確認日：令和 2 年 12 月 17 日)



Pic. 3 F-I 断層

コアフィルター敷きから連続して分布する。

(確認日：令和 2 年 12 月 17 日)

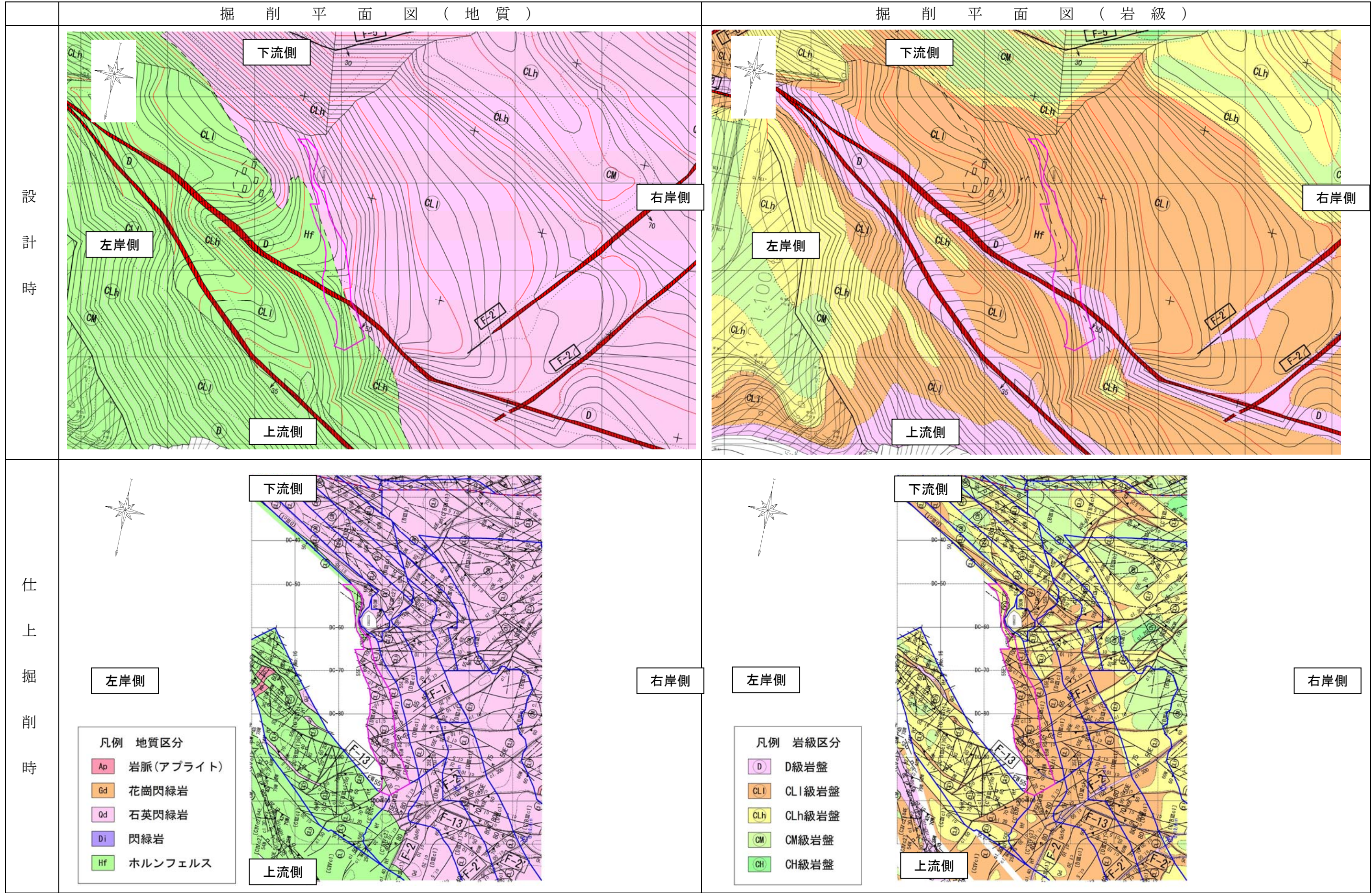


Pic. 4 F-I 断層の近接写真

幅 2cm 程度の灰色粘土を含む幅 10cm 程度の D 級岩盤が分布する。
走向傾斜は N55E/65N 程度。

(確認日：令和 2 年 12 月 17 日)

3.3 設計時との対比（地質・岩級区分図）



3.4 シュミットロックハンマー試験による岩級確認

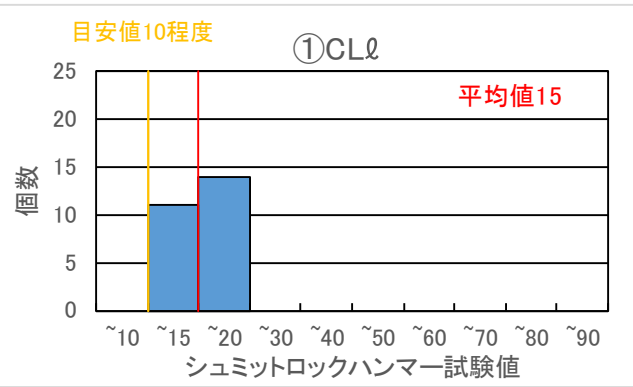
3.4.1 CL₀級岩盤及びCL_h級岩盤

試験日：令和2年12月17日

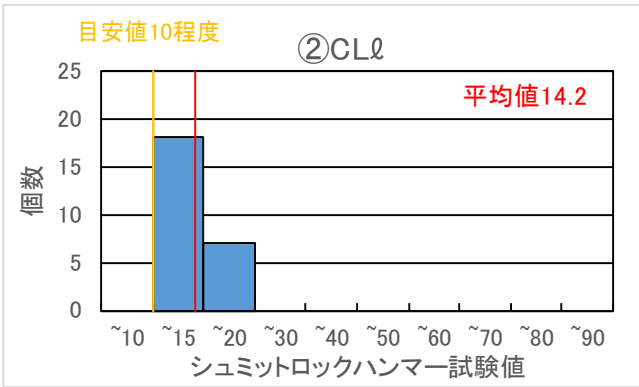
試験結果

地点	①	②	③
地質	Qd	Qd	Hf
岩級	CL ₀	CL ₀	CL _h
	DⅢc1	DⅢc1	BⅢc1
	補正值	補正值	補正值
1	16.4	12.4	16.4
2	17.4	14.4	17.4
3	13.4	13.4	16.4
4	16.4	14.4	12.4
5	16.4	14.4	14.4
6	15.4	13.4	16.4
7	16.4	15.4	17.4
8	17.4	14.4	13.4
9	13.4	15.4	15.4
10	17.4	14.4	24.5
11	16.4	13.4	17.4
12	16.4	13.4	16.4
13	15.4	17.4	18.4
14	12.4	15.4	17.4
15	11.4	15.4	16.4
16	14.4	11.4	19.4
17	13.4	13.4	17.4
18	12.4	13.4	16.4
19	12.4	14.4	14.4
20	14.4	14.4	33.3
21	14.4	15.4	37.3
22	15.4	13.4	20.4
23	14.4	13.4	21.4
24	16.4	14.4	21.4
25	15.4	15.4	23.5
最小値	11.4	11.4	12.4
最大値	17.4	17.4	37.3
平均値	15.0	14.2	19.0

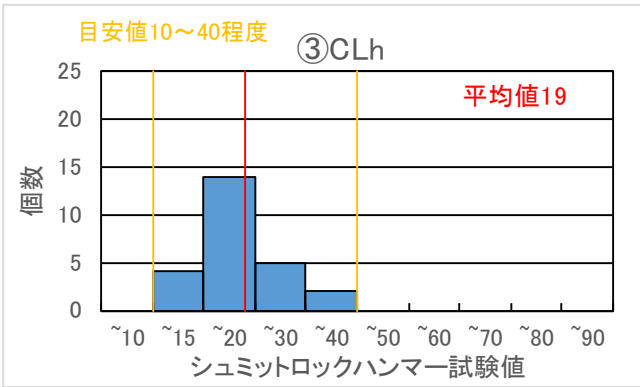
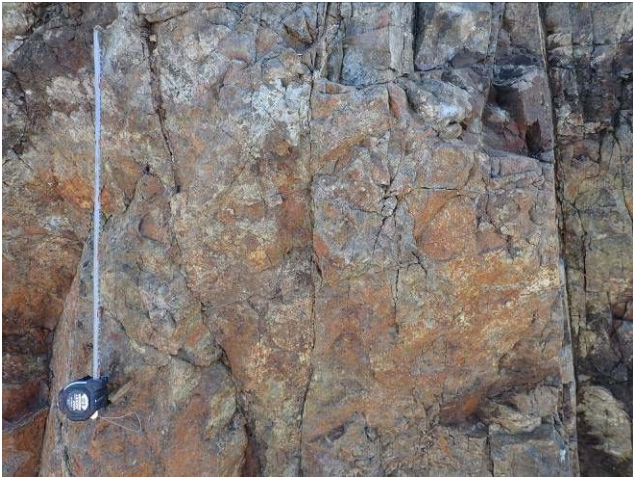
① Qd CL₀級 (DⅢc1)



② Qd CL₀級 (DⅢc1)



③ Hf CL_h級 (BⅢc1)



安威川ダムにおける
シュミットハンマー試験

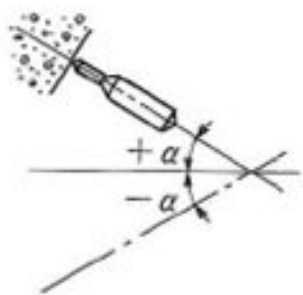
岩級	CL ₀
目安値	10程度

安威川ダムにおける
シュミットハンマー試験

岩級	CL _h (Hf)
目安値	10~40程度

傾斜角毎の補正值

反発度 R	傾斜角に対する補正值 (△R)			
	+90°	+45°	-45°	-90°
10			+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7



傾斜角の符号の考え方

